

まち・ひと・しごと

戦略 茶話会

英雄猿飛佐助

戦国武将**真田幸村**に仕え

真田十勇士の第一に登場した。

伝説の英雄**猿飛佐助**は

近江国甲賀郡吉永山に実在した

三雲佐助賢春のことだという。



◆茶話会のルール◆

- ・だれもが自由な発言をしましょう。
- ・みんなで知恵とアイデア、意見を出し合いましょう。
- ・みんなの意見に耳を傾けましょう。
- ・他の人の意見を最初から否定しないようにしましょう。

日 時：平成 27 年 8 月 6 日（木）

19 時 00 分～

場 所：社会福祉センター

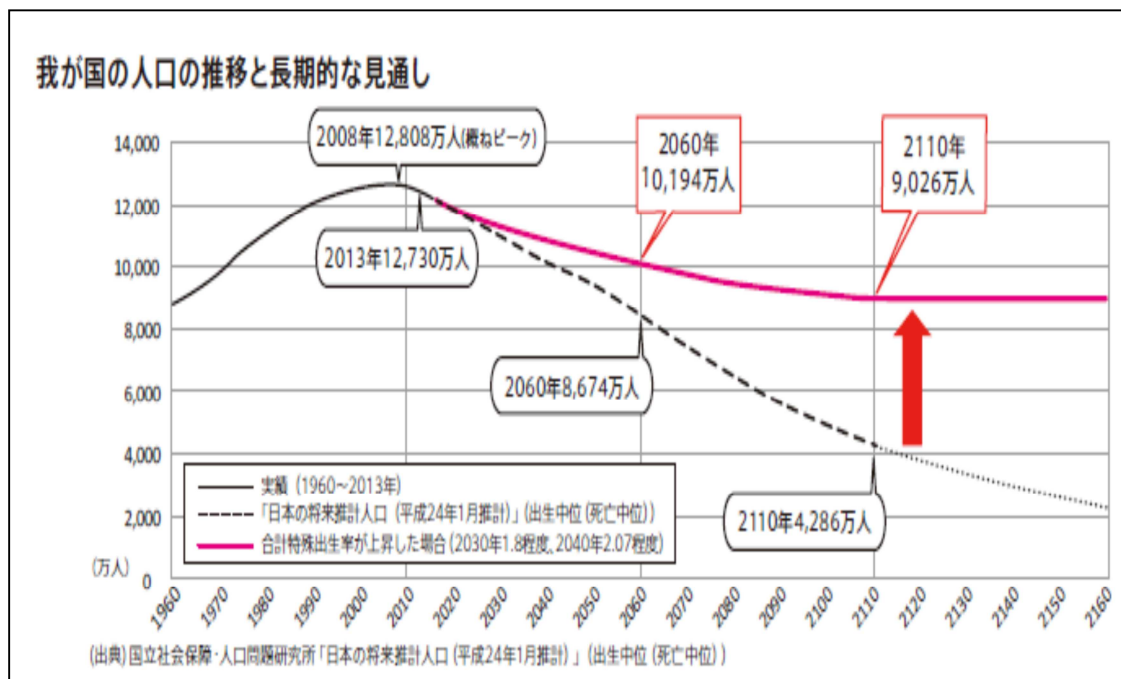
テーマ：地域循環社会



話題提供：「まち・ひと・しごと戦略茶話会」にあたって

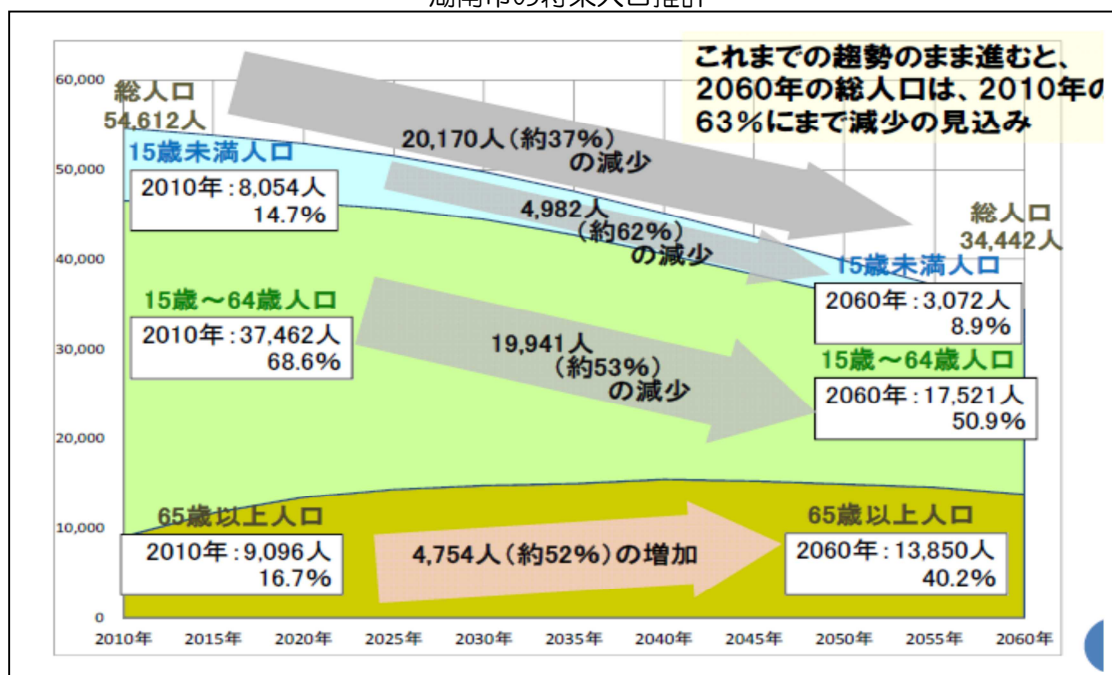
1. 将来人口の推計

2008年に始まった我が国の人口減少は、今後加速度的に進んでいく見込みです。



人口減少社会は、湖南省においても例外でなく、2006年3月の人口をピークに減少傾向にあります。今後も減少傾向は進み、2060年の総人口は34,442人となり、2010年の63%にまで減少する見込みです。

湖南省の将来人口推計



「日本の将来推計人口」 国立社会保障・人口問題研究所より

2. 人口の変化が地域の将来に与える影響

■暮らしへの影響

- ・地域コミュニティの希薄化・弱体化により、集落機能の低下や集落の維持が困難
- ・利用者の減少により、バス路線の廃止や商店の閉店など日常生活に支障
- ・管理が不十分な空き家の増加により、景観の悪化や災害時に支障
- ・高齢者が増えることにより医療・介護従事者が不足
- ・地域の祭りなど伝統行事等の担い手がいなくなり、地域文化の伝承が困難
- ・子ども・若者世代の減少により、学校の統廃合や地域の活力が低下

■地域経済に与える影響

- ・消費が減少し、経済活力が減少
- ・生産年齢人口（労働人口）が減少することにより、労働力が不足

■行政に与える影響

- ・税収が減少し、公共施設の維持や生活を支える社会資本の維持が困難
- ・高齢者の増加により、社会保障費が増大

■その他の影響

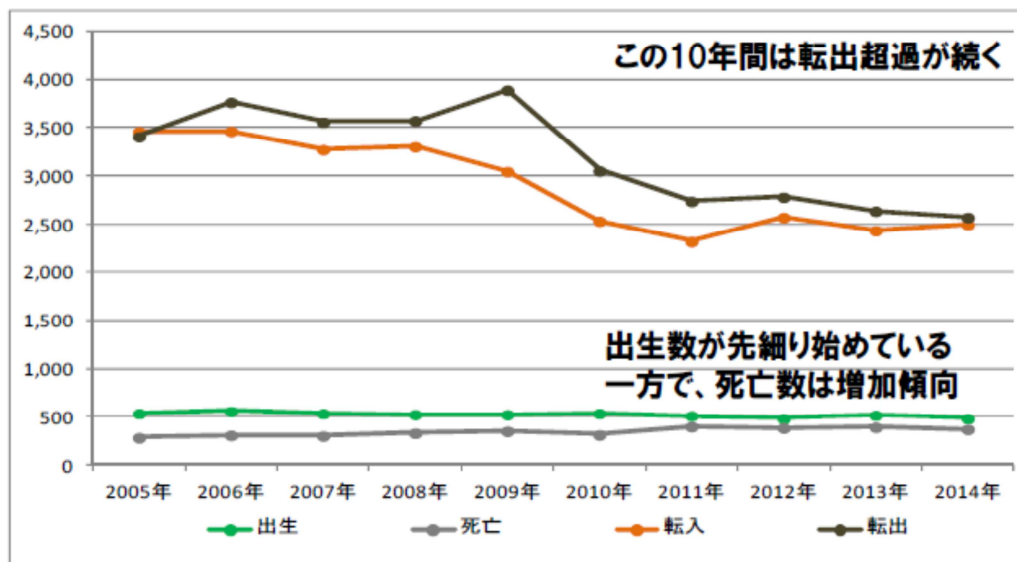
- ・担い手不足により、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進む

3. 目指すべき将来の方向

1) 現状と課題

人口動態：出生・死亡、転入・転出の推移

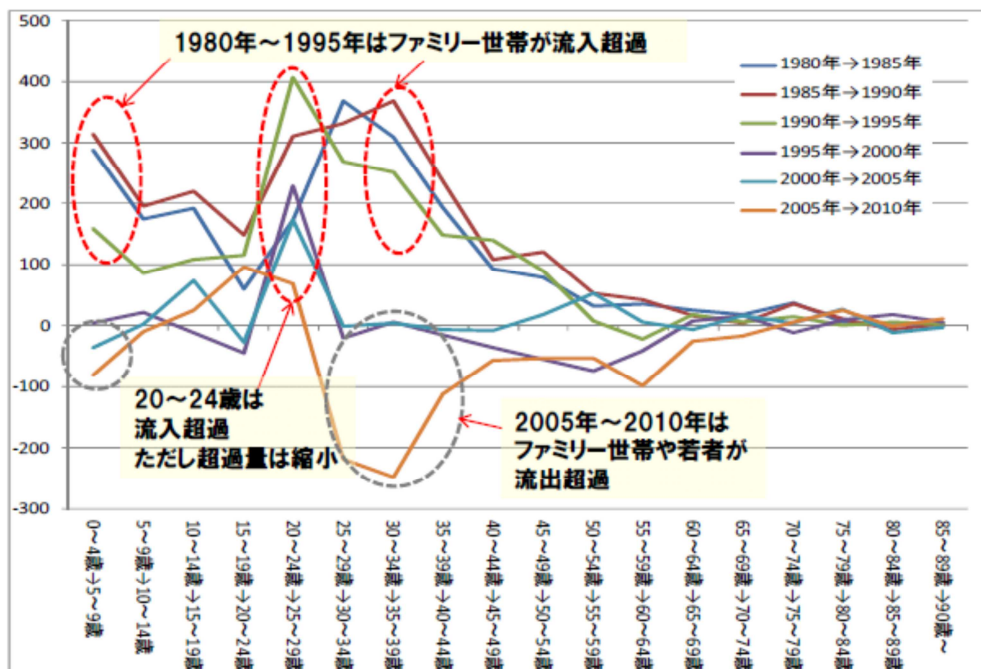
(3) 出生・死亡、転入・転出の推移



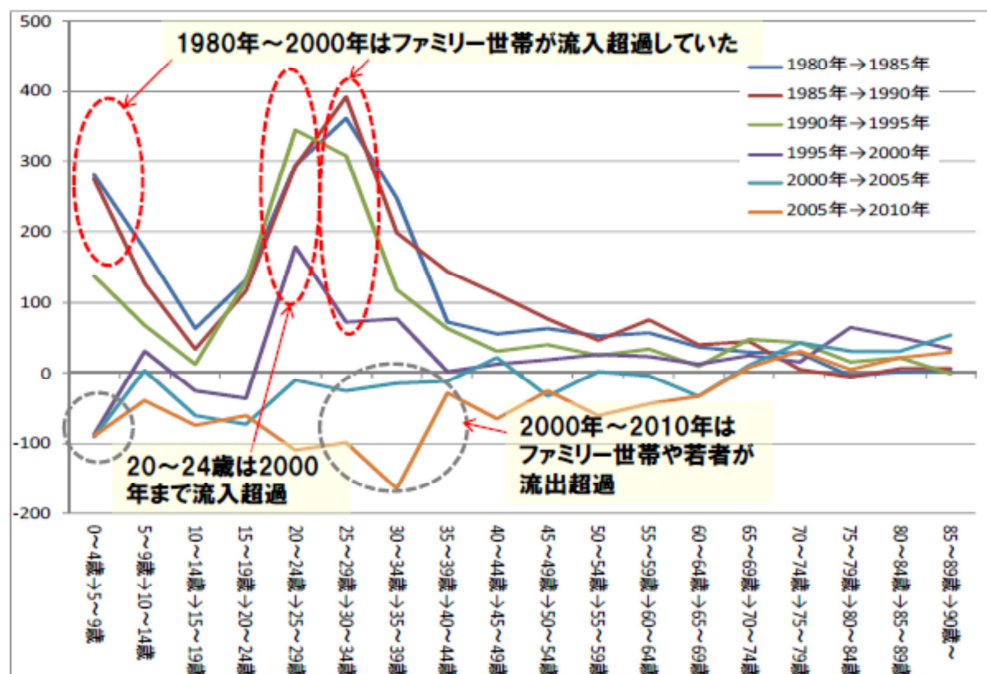
	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
出生	627人	538人	561人	537人	528人	527人	539人	514人	484人	520人	484人
死亡	261人	287人	311人	305人	334人	354人	316人	402人	388人	395人	374人
転入	3,579人	3,462人	3,466人	3,275人	3,306人	3,048人	2,534人	2,321人	2,573人	2,436人	2,498人
転出	3,628人	3,410人	3,767人	3,560人	3,575人	3,892人	3,055人	2,740人	2,783人	2,638人	2,573人

性別・年齢階級別の人口移動の状況

ア) 男性



イ) 女性



■ 湖南市の人口減少における課題

- ・ 出生数が横ばい（先細り）
- ・ 転出超過が続いている。
- ・ 特に若い女性の人口減少
- ・ 死亡数が増加傾向
- ・ 若い世代の人口減少（転出）

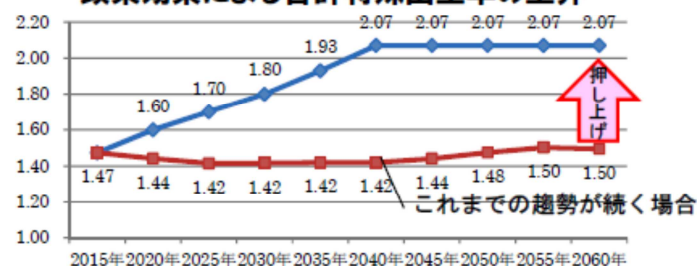
2) 人口の将来展望

政策効果による合計特殊出生率の上昇・総人口の上昇

(2) 政策効果(仮定)のイメージ(合計特殊出生率と出生数)

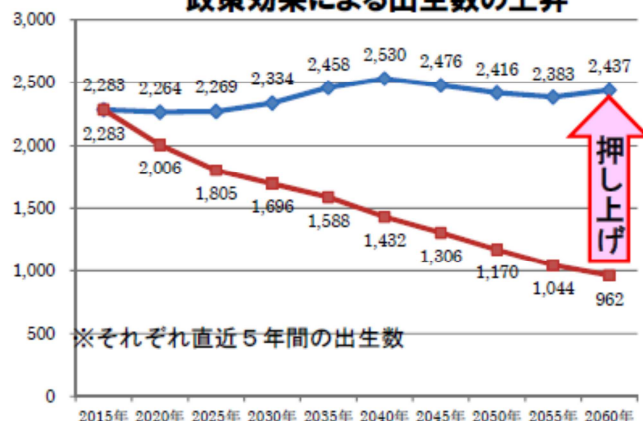
政策効果による合計特殊出生率の上昇

合計特殊出生率は、
2030年に1.8、2040年
に2.07(人口置換水準)
にまで上昇する



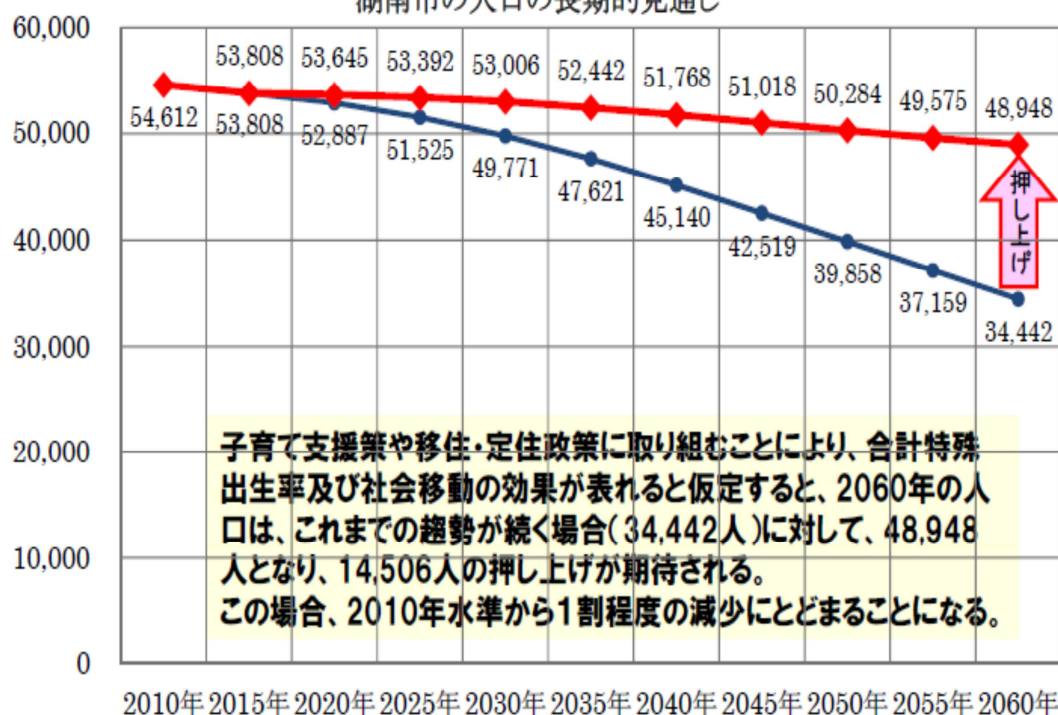
政策効果による出生数の上昇

出生数に置き換えると、
2020年には、底を打ち、
2030年以降は2,400人
(5年間)程度で安定する
見込み

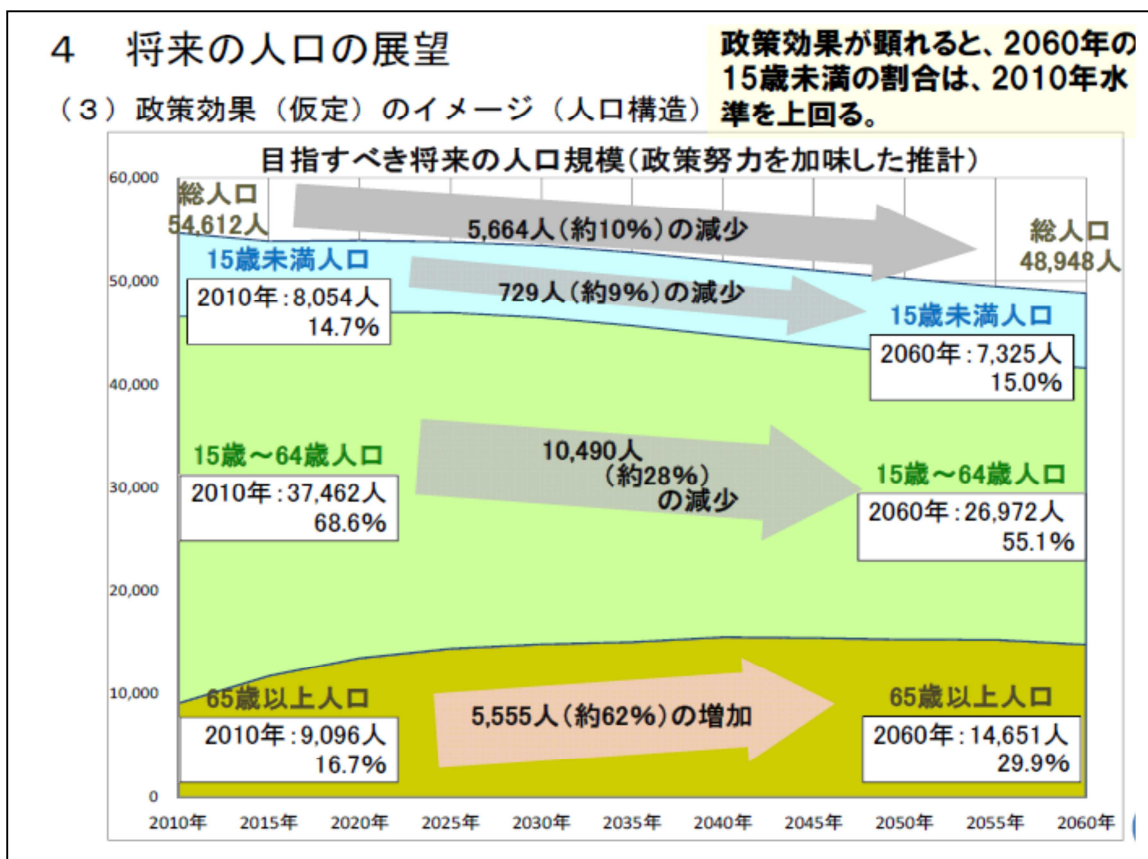


(3) 政策効果(仮定)のイメージ(総人口)

湖南省の人口の長期的見通し



4. 将来人口の展望

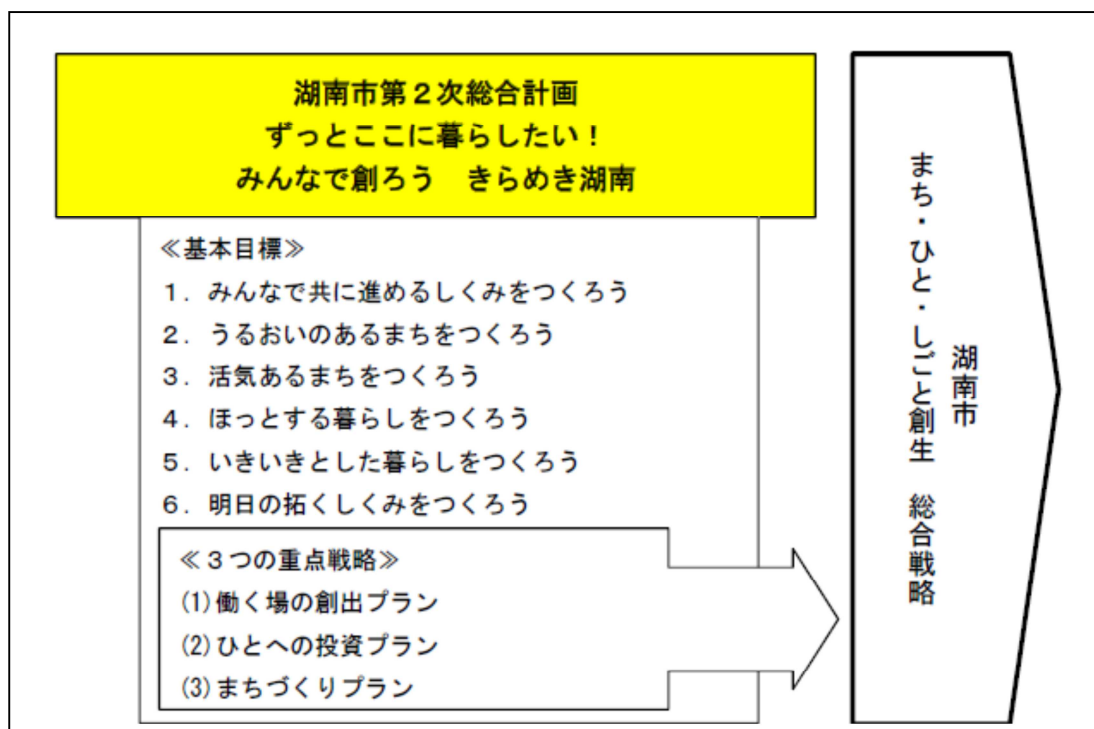


■ 湖南省の将来人口の展望

- 人口の減少を現在の総人口の約10%減少で食い止める。
- 2060年の15歳未満人口の割合は、2010年の水準を上回る。
- 高齢化率は30%までに食い止める。
 - ・合計特殊出生率は2030年までに1.8、2040年までに2.07(人口置換水準)
 - ・これまでの趨勢から見込まれる人口流出を、今後10年間で抑え、毎年150人の転入増加

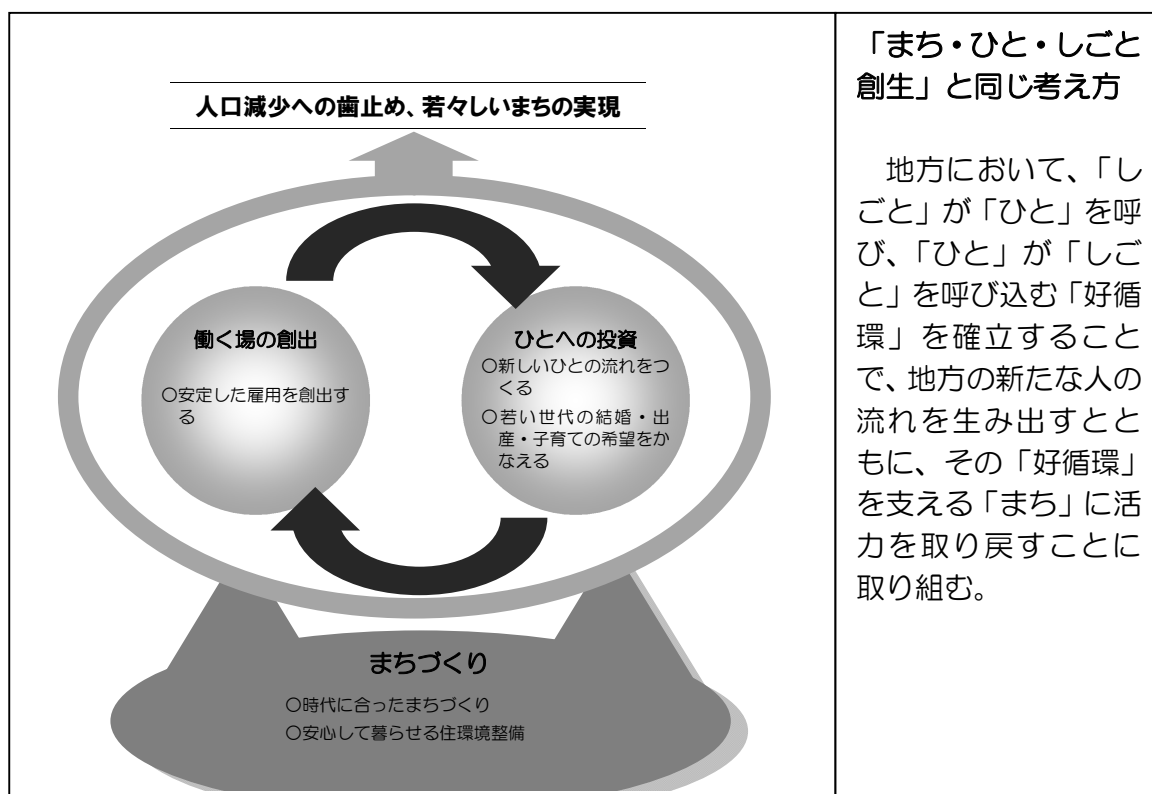
5. 湖南省版まち・ひと・しごと創生総合戦略

1) 総合計画の重点プランとしての位置づけ

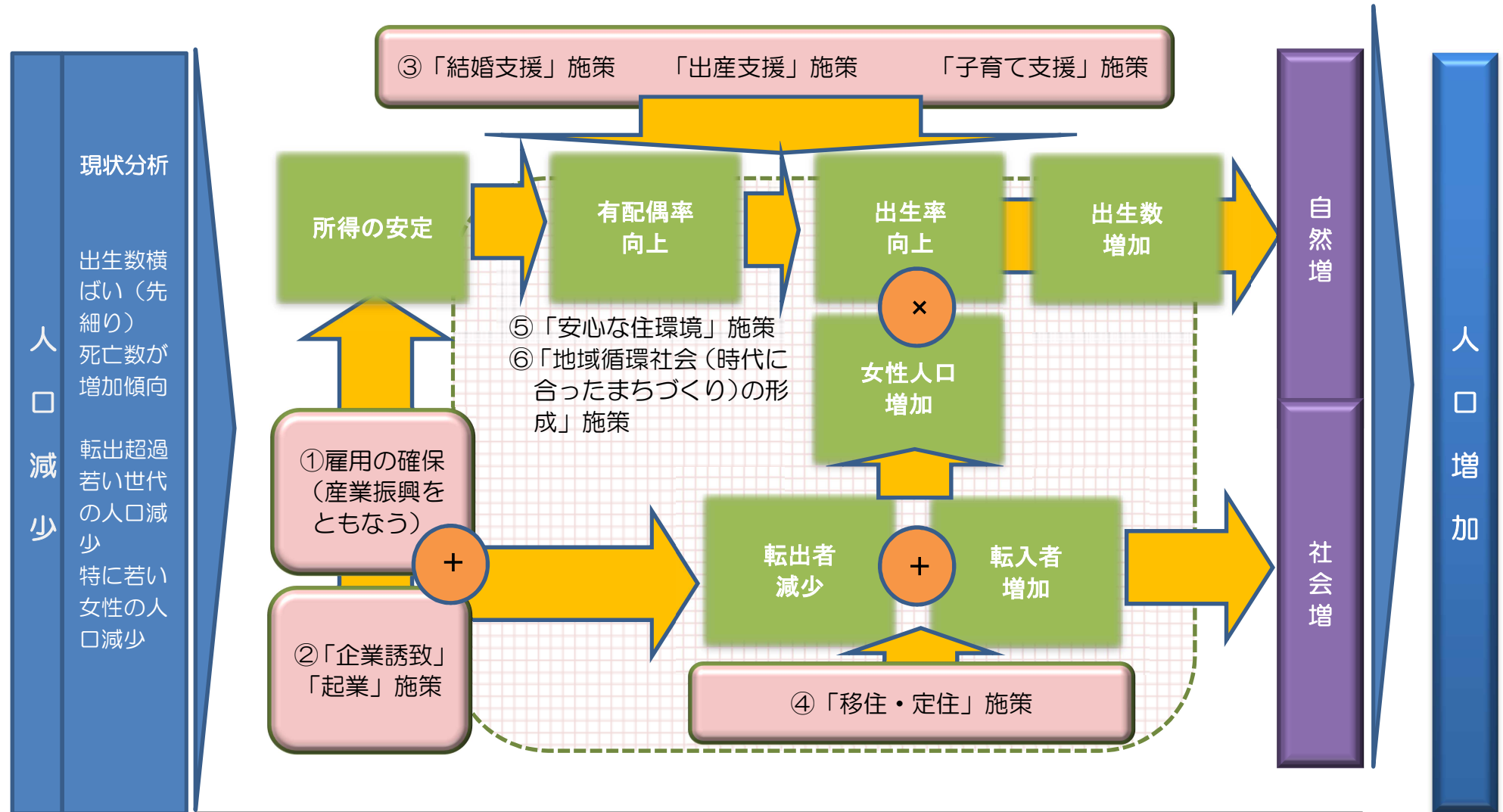


2) 3つの重点プラン

「湖南省版まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの重点プラン「働く場の創出」、「ひとへの投資」、「まちづくり」とし、これを実現することで、人口減少への歯止め、若々しいまちの実現することを目指します。



3) 施策実施から人口増加につなげるイメージ



※茶話会では、①～⑥までのテーマで意見交換をおこない、具体的な施策を検討します。
みなさんが考える湖南省（まち）の特色（強みと弱み）を生かした施策の提案をお願いします。

まち・ひと・しごと戦略茶話会

人口減少への歯止め、若々しいまちの実現には、地域で支えあう子育て環境、暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要であると認識し、次の3つのプランを今後の施策の柱と位置付け、その課題に向けた施策を展開する。

● テーマ ● まち:「地域循環社会」

⇒地域内での資源や経済の循環を活発にし、外部への依存度を低くしたり、コントロール外のリスクに晒されることを防ぐことにより、地域社会の持続性を高めるまちづくり

● 視点 ●

○資源等の循環

- ・廃棄物の抑制（ゼロ・エミッション）

【例】リサイクル活動の促進

- ・地域内の農林産物の市内加工、特産品化等の活用（6次産業化）

【例】道の駅・物産館での特産品開発・販路拡大の支援

○経済の循環

- ・関連産業の集積による産地の強化（市内BtoB取引の増加）
- ・買い物先の市外依存度低下（市内で買えるものは市内で）

【例】農産物の地産地消で、新たなブランドの育成・認定とPRの推進

○エネルギーの地産地消

- ・再生可能エネルギーの活用、域内消費による外部依存の低減、エネルギーの市外流出防止（域内経済規模の拡大）

【例】スマートエネルギーシステムの導入（企業間のエネルギーの融通）

○世代の循環

- ・次の世代が確実に定着し、地域の文化やまちを受け継ぐ

【例】まちづくり協議会での活動充実

人口規模を維持するため取り組む施策

● 施策アイデア ●

左側の「視点」を参考に、将来にわたって人口規模を維持するため、「地域循環社会」の実現に関して取り組むべき具体的な施策アイデアについてご意見をよろしくお願いします